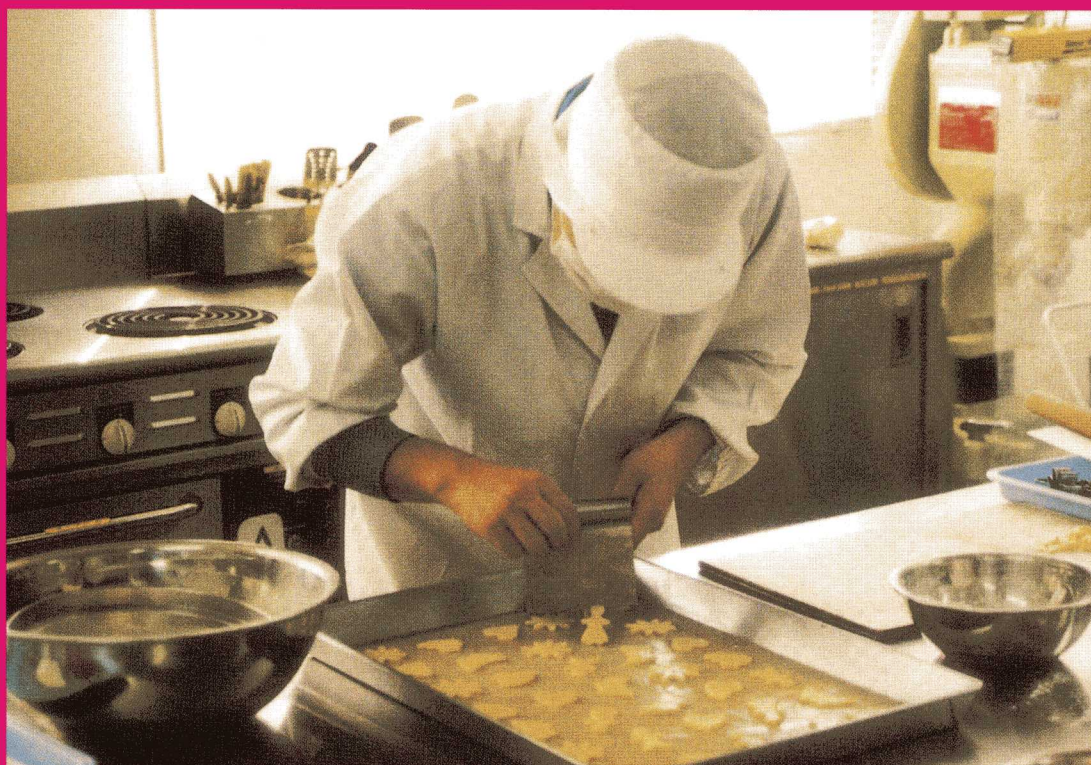


「自閉症者の職業上の諸問題に関する研究」より

事業主のための

# 自閉症者雇用ガイド



# 《自閉症者は誤解されています》

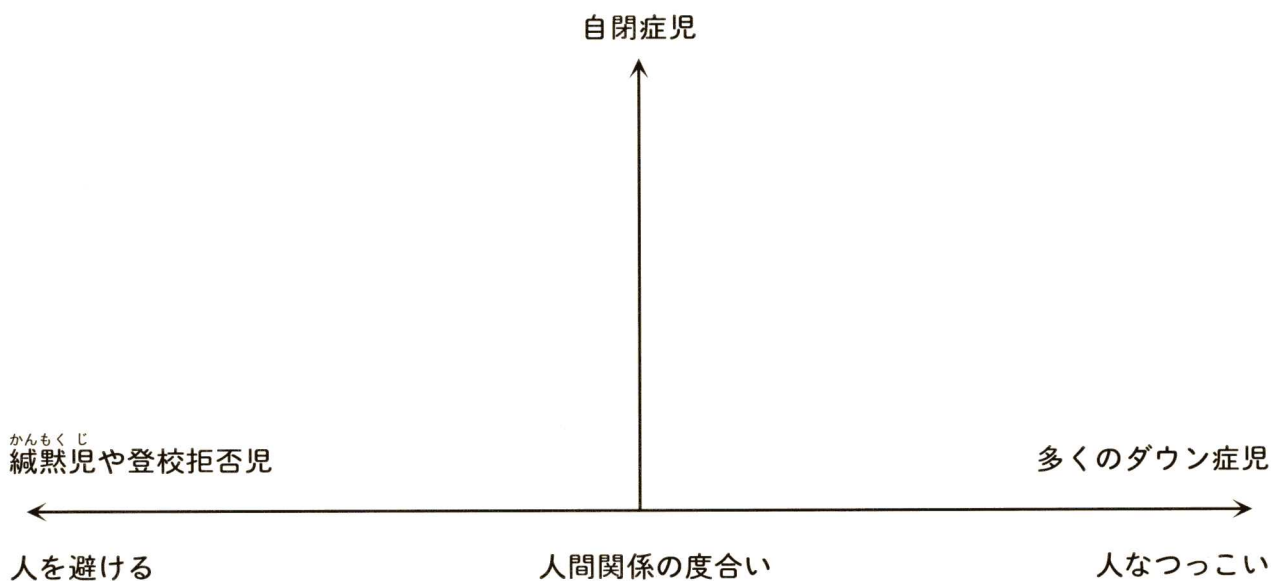
## 1. 自閉症の人はしゃべらない？

よくテレビなどで、何か精神的なショックによってしゃべらなくなる子が自閉症と言われて出てくることありますが、一般的に人を意識してしゃべらない子は「緘黙児<sup>かんもくじ</sup>」といって、自閉症ではありません。自閉症の人の中には全くしゃべれない人もいますが、逆にテレビのコマーシャルや駅の案内放送などを暗記してしゃべり続ける人たちもいます。

## 2. 自閉症は人を避ける？

ダウン症というひとなつっこい知的障害児がいます。それとは逆に緘黙児<sup>かんもくじ</sup>や登校拒否をする子どもたちは、人と接触するのを嫌がります。しかしながら、多くの自閉症児は意識的に人と接触しようという気持ちは少ないのですが、また人を避けようとする気持ちも持っていません。下図に示すように、人間関係に関しては自分の世界に入っている状態と考えられます。

ですから、マイペースだとか頑固だとか思われる自閉症児もいます。



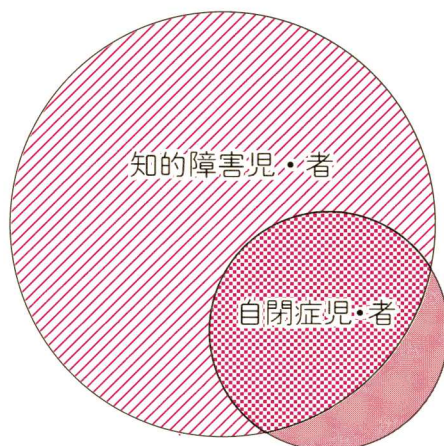
## 3. 自閉症は治る？

残念ながら今の医学では治りません。しかし、周りの環境を自閉症の人たちに合わせることで、社会や職場に適応させていくことができます。

#### 4. 自閉症は知恵遅れとは違う？

いろいろな調査でわかったことなのですが、自閉症と診断された人たちの7割から8割の人たちに知的な遅れが存在しているといわれています。

中には大学の助教授になった自閉症の人もいますが、下図に示すように多くの自閉症の人たちに知的な遅れがあるのです。



自閉症と知的障害の関係

#### 5. 自閉症は心の障害？

心に障害が全くないわけではないのですが、<sup>かんもくじ</sup>緘黙児や登校拒否児等と異なり、現在では脳の損傷による発達障害だと言われています。

ですから、母子関係によって自閉症になるということはありません。

#### 6. テレビを見せると自閉症になる？

テレビを見せても自閉症にはなりません。ただ、機械などに興味を示す自閉症の人もおり、テレビのコマーシャルをずっと見ていたり、パソコンに熱中する自閉症の人が数多くいることも事実です。



## 《自閉症の定義》

それでは、自閉症という障害はどのようなものであるのか、以下に定義を示します。

### A. 意志を伝達したり、されたりすることが困難な障害

ことばによるコミュニケーションを図ることが困難であり、ことばを使えたとしてもオーム返しになったりすることが多いのです。そのため、相手に自分の意志を伝えたり、他人からの言葉かけを理解することが難しい障害なのです。

### B. 対人関係に困難を示す

挨拶をしたり、目と目を合わせたり、場の状況にあった表情を見せたりすることはなかなかできません。また、友達と一緒に遊んだり、仲間を意識的に作ろうとすることもほとんどありません。

### C. 独特の興味やこだわりがある

時間に敏感で、残業をするのを極度に嫌ったり、乗るバスや席の位置も決まっていないと気がすまないといった行動を示すことがあります。それができないとなると、自分の顔を叩いたりかんしゃくを起こすこともあります。

(DSM-IVより)

## 《自閉症者を雇用する場合の注意点》

1. できるだけ言葉で指導しようとせず、絵や写真あるいは現物を見せるなど、目でみてわかるような指導を行います。
2. 作業内容の変更などを極端に嫌う場合があるため、できるだけ一定した仕事をさせる。残業もできるだけさせない方がいいでしょう。
3. 時間概念の理解が困難なので、1日あるいは1週間のスケジュールを本人にわかるようなレベルで立て、それを紙に書いて貼っておくとよいでしょう。
4. 光とか音とかに敏感な自閉症者が多いので、できるだけ壁に向かい左右をパーティションで囲ったりして、刺激を遮断することにより、集中して作業に取り組める場合があります。
5. 言葉による挨拶などは強要せず、紙に書いた「おはようございます」のカードを見せたりすることによって挨拶代わりにすると理解も容易でしょう。

## 《自閉症者雇用のメリット》

1. こだわりがあるため、作業が丁寧でありミスを生じることが少ない。
2. 作業ペースが一定していてムラがない。
3. 遅刻や欠勤をすることが少ない。
4. とても高いレベルまで習熟する自閉症者もいる。

## 《自閉症者雇用のQ & A》

**Q：**一つの仕事が終わる度に報告にやって来て、うるさいのですがどうすればよろしいでしょうか。

**A：**口頭での報告に代えて、白板等に「～が終わりました」と書かせ、管理者は半日あるいは1日に1回返事を書いてあげるといったことにより、そうした確認癖が減少した事例があります。

**Q：**休憩時間に職場内をうろうろして危ないのですが？

**A：**多分、何をしたらよいかわからないからだと思います。休み時間にも本人が好きな行動（例えば好きな雑誌を読むとか）ができるような環境を整えてあげることが必要です。それを習慣化させることによって休憩時間のトラブルも減少するでしょう。

**Q：**挨拶をしません。また作業中に黙っていなくなることがあります。

**A：**挨拶は何も言葉だけにこだわらず、「おはようございます」と文字で書いたカードや挨拶をしている絵などを使って指導されてはどうでしょうか。黙っていなくなる場合も、例えばトイレなどであれば、その旨を書いたカードなどを管理者に示した後に行くように指導されるとよいでしょう。

**Q：**ときおり大声を上げたりするパニックが起きるのですが。

**A：**何故起きるのか原因を確かめて、起きないようにすることが原則ですが、もし起きてしまったら、自分で落ち着く場所をあらかじめ設定しておき、パニックが起きたらその場所へ行くように指導してみてもいいでしょうか。くれぐれも、感情的に怒らないようにしてください。

**Q：**ちぐはぐな行動をするのですが。

**A：**指示の意味が理解できない場合が多く、「これをちょっとやっておいてくれ」というような言い方ではほとんど理解できません。具体的に「この箱を10個、棚に上げてくれ」という言い方をする事が大切です。できれば、一度やってみせて指導を行うと理解しやすいでしょう。





〒261-0014 千葉市美浜区若葉3-1-3

日本障害者雇用促進協会  
障害者職業総合センター

TEL 043-297-9067

FAX 043-297-9057

表紙の写真は障害者職業総合センターで準備訓練を受講している自閉症の安田成浩君です。  
裏表紙の絵はその安田君が描いた訓練風景です。